





寛文九年十月の此物に  
一見し  
一神母  
物と  
と  
東  
今  
人  
女  
ま  
り  
と  
と  
足  
新  
何  
お  
お  
お  
お



新と金と長とつらと白とあつら  
まにせりあり

アまのあつら  
川にあらの台



左一辰

右一成



大のやうな  
まにせりあり

新と金と長とつらと白とあつら



たぶやうも  
まじりあはれ

物さうこし  
奥れ毒なり

石ニ己

右 亥

白黒やうのあし  
こころも  
砂糖餅

竹馬や打し  
月をいづの道





白馬やうのあり  
こころしくお糖餅



竹馬や打し  
月をいづの道



右  
三  
午

右  
子

小松やうの  
引おきし物



羊やうの  
はしりてん





小松平  
引物

羊子  
引物

辰  
未

石  
丑

い  
小野

依  
子





いしやうしや  
小野の牛のま

依りしや  
あまやねのま



左  
申

石  
寅



高の虎  
しん  
横巻

高の虎  
一番二番





虎の尻  
ちりり

しん  
横尾



高木は鐘や  
一番二番馬



左  
六  
酉

右  
卯

短  
小月乃  
免  
九  
再  
力  
ふ



古  
二  
光  
放  
侍  
書  
之  
平  
日  
之  
号

三  
圃





左  
六  
酉

右  
卯



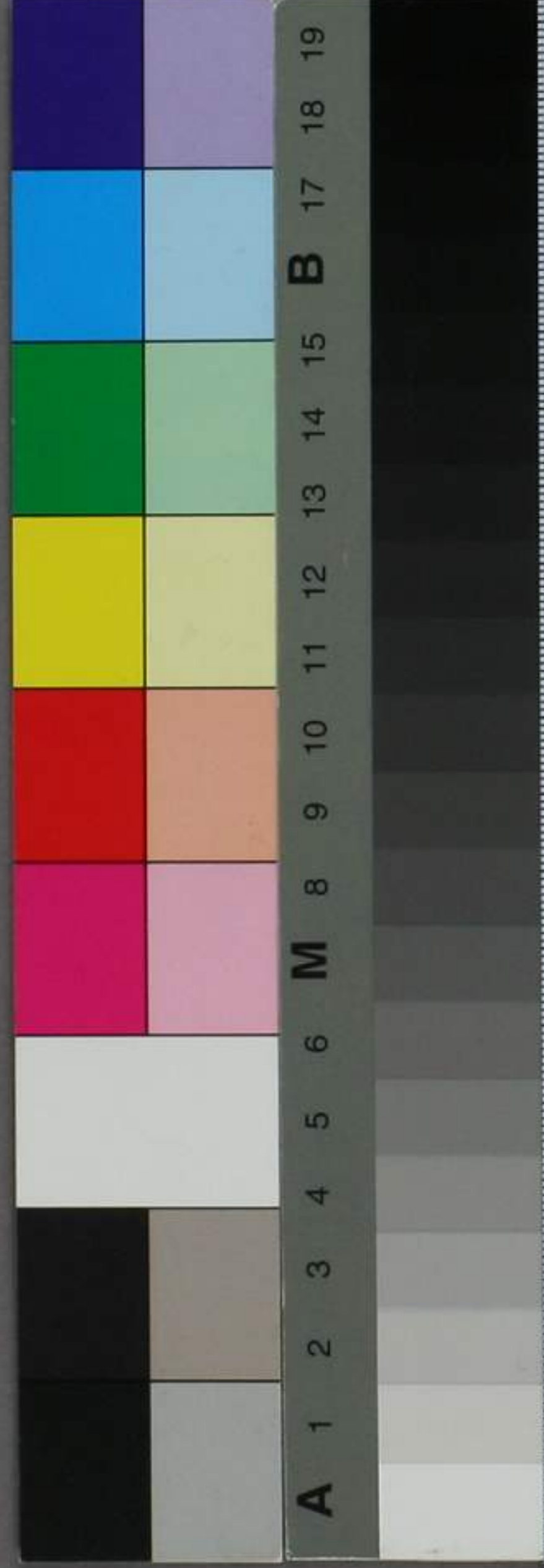
癸卯小月乃  
癸卯年也

古三光放得

書之平白也







特別  
~5  
6098

十二枝 句合





